

九州初開催!実務セミナーのご案内

～モノづくりフェア2012 併催特別セミナー～

申込み番号 E1

最適保全システムの確立で要求品質の確保と収益向上を目指す!

「最適保全システムの構築と保全コストの見直し・低減の進め方」

日 時

10/24(水) 10:30~16:30

会 場

マリンメッセ福岡(福岡市博多区)
モノづくりフェア2012会場内 セミナー会場 E

〈開催趣旨〉

製品の多機能化・高精度化が進んでいる今日、お客様が求める品質保証への要求はより一層高まってきています。品質の確保は設備の状態の良し悪しによって大きく左右されることは言うまでもありません。従ってメンテナンス技術の向上と効率的かつ効果的な保全設備体制の確立は、製品品質・生産性・収益向上を実現するための焦眉の課題です。本セミナーではこのような課題を解決するために、保全レベルの評価、設備重要度評価、故障解析と対策、さらにトータルメンテナンスコスト低減について、講師の豊富な体験と事例を含めてわかりやすく解説します。

〈プログラム〉

1. 効果的な保全とは

- (1) 工場の生産性能6要素
- (2) 効果的な保全の考え方
- (3) 効果的な保全の進め方
・保全レベルの評価方法
・全体計画の作成方法

2. 最適保全システムの構築方法

- (1) 保全対象設備の明確化
- (2) 設備重要度評価基準の作成
- (3) 保全方式の決め方
・設備重要度方式
・RCM方式
・RBI・RBM方式
- (4) 予備品管理の方法
- (5) 設備診断技術
- (6) 保全の評価分析法
・保全管理指標とその分析

3. 故障解析(故障0化に向けて)方法

- (1) 故障のメカニズムの把握
- (2) データの整理方法
- (3) 原因の見出し方
- (4) 対策方法の見出し方

4. 保全コストの低減方法

- (1) 保全コストの構成を把握する
- (2) 保全コストの動向
- (3) 保全コスト低減のプロセス
- (4) 保全コスト低減事

5. まとめと質疑応答

申込み番号 D4

製品不良=発売された製品の不良をいう。消費者にわたり使用時に発見された不良、もしくは市場に出てから社内部で発見された不良

「製品不良0(ゼロ)化の実際的実現法」

日 時

10/25(木) 10:30~16:30

会 場

マリンメッセ福岡(福岡市博多区)
モノづくりフェア2012会場内 セミナー会場 D

〈開催趣旨〉

◇製品不良と一口に言っても、品質不良、混入、組み立て不良、印字不良、非表示と、製品不良の根源は多岐にわたっています。その製品不良をゼロにするためには、どこに原因が隠れているのかを見つけ出す必要があるのです。なぜなら原因究明を怠れば、ゆくゆくは消費者や取引先からの信用を失い、自身の会社自体に莫大な損失を与えることになってしまいますからです。
◇そこで本セミナーでは、設計時点から生産時に至るまでの工程に分けて原因を解明し、デザインレビューのポイントと生産時の管理ポイントを明確にしていきます。
・発売されている製品不良を、製品別に体系的に整理して、その5つの原因を明らかにします。損失や被害を拡大している解決遅延や再発防止不測の原因を探ります。
・製品不良を発生させないための実際的方法を、生産前(発売前)と生産時を通じてどうすべきかの方法を示します。
・製品不良0化を実現することは、真の優良企業・真の優良工場を目指す総合的高品質化に等しいことを示します。

〈プログラム〉

(序) 企業経営目標の変遷と改善・変革活動

1. 製品不良の3つのタイプと発生規模

- (1) 低技術製品不良
1 低研究開発・設計製品不良
2 低製造技術製品不良
- (2) 低体質製品不良
- (3) 低監査製品不良
- (4) 発生規模
1 個別型
2 同時多発型

2. 製品不良の実態

- (1) 製品別製品不良の種類・原因と損失
1 食品
2 薬品
3 家電品
4 衣服、おもちゃ等の生活品
5 自動車・自動車部品
- (2) 製品不良の7つの原因

3. 製品不良0化の実際的実現方法

- (1) 製品不良0化の条件
- (2) 最良設計・製作(デザインレビューのポイント)

- 1 ストレスと故障メカニズムの明確化
- 2 トラブル想定と対策
- (3) 製品不良を発生させない生産体制の構築
1 高運転管理体制構築(特に運転員のレベルアップ)
- 2 高設備管理体制構築
- 3 高品質保証体制構築
- (4) 協力企業監査の徹底
1 監査のポイント
- 2 不良材・不良製品の搬入防止方法
- 3 委託整備技術力の管理
- (5) 製品不良再発防止の徹底: 真の原因究明と完全対策
1 従来の問題解決法の弱点
- 2 真原因が究明できる新問題解決法MS1
- 3 MS1による問題解決例
- (6) 効率経営からバランス経営へ
1 CS(顧客満足)の徹底
- 2 SS(社会性満足)の徹底

4. まとめ

製品不良0の企業になるために: 真の優良企業・高質企業だけが製品不良0を実現できる。TPC(総合的高質化)実行の必要性

講師 牧事務所 代表 コンサルタント 牧修市氏

【略歴】

1969年旭化成入社。石油化学プラント設計・建設、エアバック開発、設備診断技術開発。1979年旭化成エンジニアリング㈱に移籍し、同技術の開発継続、真の優良工場実現手法TPC(Total Process Creation)と問題解決法の開発、および、それらの社内外研修とコンサルティングを実施。1992年に独立し、上記業務に加え、工場診断プログラムの開発により、各種の工場を診断、設備診断技術の著書をはじめ、品質管理・設備管理・機械の各学会および専門誌への論文・解説文を多数発表。これまでの講演セミナーは、数百回に及ぶ。また製品不良・設備故障等の解決も、200件を超える。コンサルティングや工場診断での実経験に基づいたセミナーはわかりやすく、実際の・具体的に好評を得ている。

〈主催〉日刊工業新聞社

受講料

[E1][D4] とも各 35,000円
(テキスト代、昼食代含む。消費税込み)

申込み締切日

10/5(金)

申込み方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください
① 下記ホームページ(モノづくりフェア2012のHP)よりお申し込み
<http://www.nikkanseibu-eve.com/mono>
② FAXでのお申し込み
モノづくりフェアご招待券裏面の申込書を
下記へFAX送信してください。
FAX:092-271-5881

お問い合わせ先

日刊工業新聞社西部支社 業務部イベント担当
電話:092-271-5715
FAX:092-271-5881
E-mail:monoinfo@media.nikkan.co.jp
お申し込みいただいた方には後日振込先などの詳細をご連絡いたします。
お申し込み人数が5人以下の場合は中止させていただく場合がございます。